



2022年11月10日

各位

会社名 **ユニプレス株式会社**
代表者の代表取締役社長執行役員
役職氏名 浦西 信哉
(コード番号 5949 東証プライム)
問い合わせ 経理部長
わせ先 斉藤 直樹
電話 045-470-8631
U R L <https://www.unipres.co.jp/>

2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月11日に公表しました2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2023年3月期通期の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|------------------------------------|----------------|---------------|---------------|----------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 138,000 | 百万円 △1,600 | 百万円 △1,700 | 百万円 △2,800 | 円 銭 △62.26 |
| 今回実績 (B) | 133,174 | △2,771 | △1,412 | △1,839 | △41.24 |
| 増減額 (B - A) | △4,825 | △1,171 | 287 | 960 | |
| 増減率 (%) | △3.5 | — | — | — | |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期) | 119,327 | △7,952 | △7,216 | △7,775 | △172.90 |

2. 2023年3月期通期連結業績予想の修正

(2022年4月1日～2023年3月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|----------------|--------------|--------------|---------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 292,000 | 百万円 6,300 | 百万円 5,300 | 百万円 1,100 | 円 銭 24.46 |
| 今回修正予想 (B) | 314,000 | 3,000 | 5,300 | 2,500 | 56.13 |
| 増減額 (B - A) | 22,000 | △3,300 | — | 1,400 | |
| 増減率 (%) | 7.5 | △52.4 | — | 127.3 | |
| (ご参考) 前期実績 (2022年3月期) | 254,450 | △7,593 | △4,718 | △7,955 | △176.90 |

3. 差異及び修正の理由

(1) 2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想との差異の理由

為替影響等があったものの世界的な半導体の供給不足による得意先の減産影響等により、売上高、営業利益につきましては前回発表予想を下回る結果となりました。一方、世界的な円安による為替影響等により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益はともに前回発表予想を上回る結果となりました。

(2) 2023年3月期通期連結業績予想の修正の理由

現時点における得意先の生産情報等の入手可能な情報に基づき、当社グループの各拠点における部品生産量の見直しを行った結果、半導体不足による生産台数の減少影響はあるものの、予想を上回る円安傾向及び原材料市況の高騰等により、通期の売上高の予想は当初予想を上回る見込みとなりました。一方、通期の営業利益の予想につきましては、得意先の減産影響により当初予想を下回るものの、通期の経常利益の予想につきましては、世界的な円安による為替影響等により当初予想通りとなる見込みです。

通期の親会社株主に帰属する当期純利益の予想につきましては、一部の海外拠点におけるインフレ調整等の影響等により税金費用の減少が見込まれる結果、当初予想に対し増加する見通しであります。

この結果、売上高、営業利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が当初予想から変動することが見込まれるため、通期の業績予想を修正いたします。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上